

2019年4月改訂（第8版）
貯法 遮光、室温保存、密封容器

動物用医薬品
セフェム系抗菌剤

要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

承認指令書番号	29動薬第703号
再審査結果	2017年7月

セファガード®

Cephaguard®

（セフキノム硫酸塩油性懸濁注射液）

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、セフェム系抗菌剤のセフキノム硫酸塩を含有する牛及び豚用の油性懸濁注射液です。セフキノム硫酸塩は、グラム陽性菌及びグラム陰性菌に対し広い抗菌スペクトルを有し、特にマンヘミア（パストツレラ）ヘモリディカ、パストツレラ ムルトシダ及びアクチノバチルス プルロニューモニエに対し抗菌活性を有します。

【成分及び分量】

本品1 mL中

有効成分	含量
セフキノム硫酸塩	25 mg（力価）

【効能又は効果】

有効菌種：本剤感受性のマンヘミア（パストツレラ）ヘモリディカ、パストツレラ ムルトシダ、アクチノバチルス プルロニューモニエ

適応症：牛；肺炎
豚；豚胸膜肺炎

【用法及び用量】

牛：1日1回体重1 kg当り本品0.04mL（セフキノム硫酸塩として1mg（力価））を3～5日間筋肉内に注射する。
豚：1日1回体重1 kg当り本品0.04～0.08mL（セフキノム硫酸塩として1～2mg（力価））を3日間筋肉内に注射する。
投薬開始後3日以内に治療効果を確認し、効果がみられない場合には獣医師の判断に基づき薬剤の変更等を行うこと。

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であつてもそれを反復する投与は避けること。
- ・本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物（牛、豚）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。
牛：食用に供するために殺する前7日間又は食用に供するために搾乳する前36時間
豚：食用に供するために殺する前4日間

（取扱い及び廃棄のための注意）

- ・よく振り混ぜてから使用すること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
- ・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものを除く。）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れ替えないこと。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

（牛及び豚に関する注意）

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

（専門的事項）

①重要な基本的注意

- ・本剤の使用に当たっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、適応症の治療上必要な最小限の期間の投与に止めること。
- ・本剤は第一次選択薬が無効である症例に限り使用すること。

②副作用

- ・本剤は、まれに過敏症反応を起こすことが考えられるので、観察を十分に行い、症状があらわれた場合は投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- ・本剤の投与により、牛で注射部位にときに一過性の腫脹が起こることがある。

③その他の注意

- ・2回目及びそれ以降の投与は、異なる部位に注射すること。

【薬理学的情報等】

（薬効薬理）

1. 抗菌作用

本剤はグラム陽性菌及びグラム陰性菌に対し広い抗菌スペクトルを有し、特にマンヘミア（パストツレラ）ヘモリディカ、パストツレラ ムルトシダ及びアクチノバチルス プルロニューモニエに対し抗菌活性を有する。

2. 作用機序

細菌細胞壁の合成を阻害することにより、殺菌作用を示す。

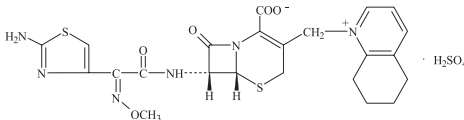
（有効成分に関する理化学的知見）

化学名：1 - [[(6R,7R) - 7 - [2 - (2 - アミノ - 4 - チアソリル) グリオキシルアミド] - 2 - カルボキシ - 8 - オクソ - 5 - チア - 1 - アザビシクロ [4.2.0] オクト - 2 - エン - 3 - イル] - メチル] - 5,6,7,8 - テトラヒドロキノリニウムヒドロキソド,分子内錯塩, 7 - (2 - (O - メチルオキシム) , サルフェート (WHO)

分子式：C₂₃H₂₆N₆O₉S₃

分子量：626.68

構造式：



性状：白色～淡黄白色の結晶性の粉末

水：溶けにくい
メタノール：極めて溶けにくい
クロロホルム：ほとんど溶けない
炭酸ナトリウム試液：溶ける

【包装】

50mL×1バイアル

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術
〒102-0073
東京都千代田区九段北一丁目11番5号
TEL：03-3264-7559

発売元

 共立製薬株式会社
東京都千代田区九段南 1-5-10

製造販売元（輸入）

MSDアニマルヘルス株式会社
東京都千代田区九段北一丁目13番12号

©登録商標

獣医師、薬剤師等の医療関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>）にも報告をお願いします。